

DX (Digital Transformation) の推進



■電子図書館導入事業（510 万 4 千円）

読書環境の整備・充実を図るため、図書館へ来館せずに、インターネットを介して電子図書を借りられる「電子図書館」を開設します。

■申請書作成支援システム導入事業（854 万 3 千円）

タブレット PC を利用して申請書作成をサポートするシステム（本人確認書類に記載の情報を自動で読み取り転記するなど）を、市民課窓口、おくやみコーナーに導入します。

まちの基盤づくり

■三世代すまいる支援事業（2,000 万円）

定住促進支援事業として、三世代同居を支援するため同居・隣居に係る住宅新築工事費の一部を補助します。（裏面参照）



健康・医療

■予防接種委託（5 億 180 万円）

带状疱疹^{ほうしん}、おたふくかぜを助成対象に追加するなど、予防接種事業を拡充して実施します。（25 ページ参照）

産業・労働

■創業経営支援センター「スタートアップいなざわ」運営事業（732 万 7 千円）

アフターコロナを見据え、創業者の支援、農業者を含む事業者の新規事業展開、施策利用などの相談窓口として、創業経営支援センター「スタートアップいなざわ」を市役所内に設置します。



安心・安全

■避難所公衆無線 LAN 整備事業（2,700 万円）

災害時に避難所で Wi-Fi による情報収集ができるように整備します。



■特殊詐欺対策装置購入費補助（50 万円）

高齢者の特殊詐欺による被害を未然に防止するため、特殊詐欺対策装置購入費用の一部を補助します。（9 ページ参照）



■稲沢ライトアップ整備事業（1,000 万円）

夜間の通行が暗くて危険であると判断される「交差点」「横断歩道」に交通安全灯を整備します。

令和 4 年度

新規・拡充事業

市が行うさまざまな事業の中から、特に注力して取り組む主な事業を紹介します。

「子育て・教育は稲沢で」の推進



■保育園 ICT 化事業（4,580 万 4 千円）

保護者へのサービス向上および保育園全体の情報共有・事務の効率化を図るため、タブレット PC を導入し、保育業務の ICT 化を推進します。

■多胎児育児費用助成事業（150 万円）

双子や三つ子などの多胎児を出産した保護者に対し、経済的支援として助成金を支給します。

「ゼロカーボンシティ」の実現に向けた取組

■電気自動車配置事業（1,225 万円）

新たに電気自動車を市役所、支所に配置します。

■二酸化炭素排出抑制対策業務委託（918 万 4 千円）

市民・事業者などと連携し、地域脱炭素の推進を図るためのロードマップを策定します。



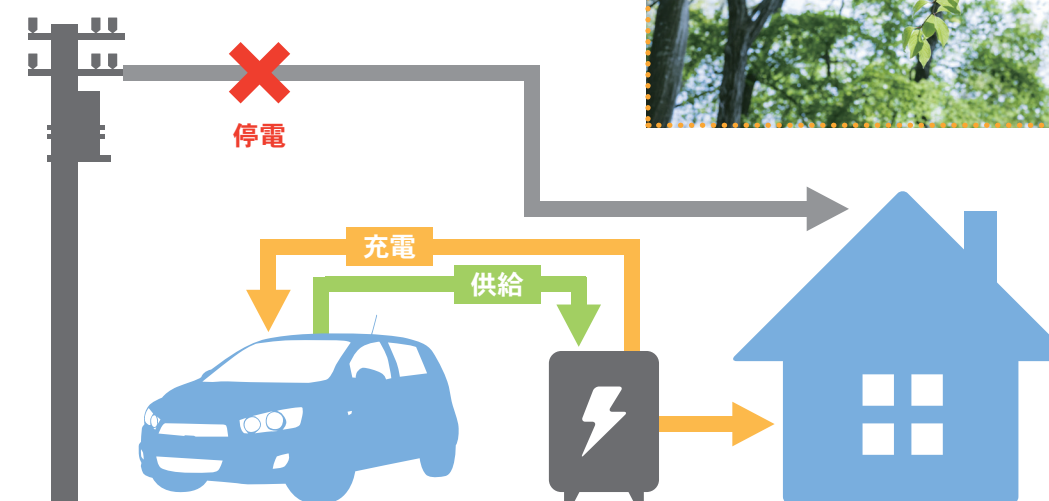
■電気自動車等充電設備設置費補助（1,010 万円）

電気自動車等の普及に伴い、「電気自動車等充電設備」を新たに補助対象に加えます。

ゼロカーボンシティ宣言

稲沢市は、令和 3 年 9 月 2 日に「ゼロカーボンシティ」を宣言しました。

2050 年までに、温室効果ガス（二酸化炭素など）を実質ゼロにすることを目指す、ゼロカーボンシティの実現に向けた、さまざまな取り組みを進めていきます。



▲電気自動車等充電設備（V2H）イメージ図